

あなたの知恵を
応援します!

第2回

知恵ビジネスプランコンテスト 認定プランを決定

本所は、知恵産業の推進を目的に「知恵ビジネスプランコンテスト」を実施しています。

京都の強みを活かした独創性あふれる応募プランの中から、

企業価値を高めて顧客創造を図るものを「知恵ビジネスプラン」として認定し、

さまざまな支援を行います。

今回は、多数の応募の中から認定されたプランについて、

その知恵の使いどころや活かし方などについて紹介します。

「京から始まる顧客創造への挑戦」を集中支援

本所では、「知恵産業のまち・京都」の一層の推進、知恵ビジネスの発展・誘発に向けて取り組むため、2010年11月に「ニュー・京商ビジョン」セカンドステージを策定しました。京都に息づいてきた「生き方」「暮らし方」「まちなり方」の知恵を活用しながら、「伝統の技」「デザイン」「科学技術」など京都ならではの強みを活かして、世の中のない商品・サービスを開発し、新たな付加価値や市場を創造することが知恵ビジネスです。「つひとつの知恵ビジネスが産業として京都全体に波及していくことが、地域経済の活力へとつながります。

このたび、より多くの中小企業が知恵ビジネスに取り組みよう誘発するため、昨年10月から今年2月にかけて、第2回知恵ビジネスプランコンテストを実施いたしました。多種多様な業種から前回を上回る84件の応募があり、企業間連携や異業種との連携により顧客ニーズに応えようとするものや、蓄積した自社の強みを新たなマーケティングで顧客価値の創出にチャレンジしようとするものなど、知恵ビジネスに「広がり」と「深まり」が見受けられました。「知恵の使いどころが巧み(独自性・優位性等)」「知恵の使いどころが与えるインパクト(社会性・顧客創造等)」「知恵ビジネスの実現性(市場適合性・実行力等)」の観点で書面審査、実地調査、ヒアリング審査を重ね、さらにと光る6件の事業プランを認定いたしました。

認定を受けた企業には、本所のコーディネート力やネットワーク力を活かして、経営戦略・マーケティング、資金調達準備・補助金申請、交流・マッチング、広報・プロモートなどに関するさまざまなハンズオン支援を継続的に行い、プランの実現をめざしていきます。



知恵産業のまち・京都の推進

認定



航空機のボルトや遠赤効果のネックレス、繊維など、用途は幅広い

株式会社 大木 工藝



同社の根幹となるのは、高度な研究開発



遠赤外線効果のある
歯ぐきマッサージ器具の開発を提案

フッ素DLC超高密度炭素素材の 開発・販売

※DLC：ダイヤモンドライクカーボン

創業以来41年間、炭素の優れた機能や効果を活用して、世の中にない商品開発に取り組み、超高密度炭素が持つ遠赤外線効果で肩こりを緩和するネックレス、炭素遠赤波動でご飯をふっくら炊き上げるIH炊飯器、汚水を浄化する炭素エコブロックなど、その範囲は健康や食、環境など多様な分野に及んでいる。京都近辺の多くの大学との産学共同研究に取り組むなど、外部に埋もれた知的シーズの発掘にも意欲的だ。

今回のプランでは、これまでに培ってきた機能性炭素の研究成果を活かし、フッ素をイオン注入するダイヤモンドライクカーボン処理を施し、新たに抗菌効果と安全性を高めたオリジナルの超高密度炭素を開発。炭素に関する豊富な研究成果とノウハウを活かし、単なる素材提供メーカーの枠を超えて、開発素材を活用した最終商品を具体的に完成させた形で提案することで、完成品メーカーとの取引を開拓していく。まずは、口臭予防や歯並び矯正などオーラルケアへの関心が高まっている中、常温下でも体温の熱で温められると遠赤外線を放射するという素材特性を活かして、歯周病関連市場に向けた歯ぐきのマッサージ器具の開発提案を行う予定だ。大手歯科器材メーカーとの連携や、公的機関、学会からのバックアップなども模索中で、商品や技術のニーズは拡大していくと予想される。

炭素は極めて有用性の高い素材であり、歯周病関連市場以外でもまだまだ未知なる可能性を秘めている。研究開発型企業として磨き上げてきた強みを活かすチャンスは、これから広がっていくに違いない。

龍谷大学 教授 佐藤 研司

審査委員長の目

同社は、創業以来、炭素をテーマとした研究開発を続け、素材の開発・提供だけでなく、その特性を活用した最終商品を具体的に完成させた形で取引先を開拓していくというスタイルを継続してきた。同社の研究開発力だけでなく、最終商品としての企画力や新たな市場開拓に向けての提案力は独自性があり、今後の事業展開に期待できる。

企業概要

【代表者】大木 武彦

【所在地】[本社]滋賀県大津市中野3-4-13

[京都営業所]京都市中京区新町通夷川下る
二条新町707-1

【事業概要】炭素素材製品の研究開発

【電話番号】[本社]077-549-1309

[京都営業所] 075-255-2418

【URL】http://ohki-techno.com/

認定



見た目も鮮やか。
緑系トマト「グリーンゼブラ」



有限会社篠ファーム



「京の新野菜」の流通により、契約農家の育成にもつなげる



新たな京野菜として、新ブランド展開を図る



「京の新野菜」の発信で

豊かな食生活への提案

創業以来、ふるさと野菜おすそ分け事業をはじめとする独自の取り組みに数多くチャレンジしてきた。国内で初めて商業生産を行った激辛唐辛子「ハバネロ」は、それを使った醤油や味噌が大きな話題を呼び激辛ブームの先駆けとなった。社長の量販店や商社での勤務経験も含め、長年にわたり培ってきたネットワークと経験に裏打ちされたスキルが強みだ。

会社ではこの強みを活かして、国内に出回っていない野菜の種苗を世界中から導入、契約農家による栽培を手掛けている。今回のプランでは、こうした珍しい野菜を顧客ターゲットに応じて、色や形、ネーミング、味覚、香り、重厚感などにこだわった「五感」に訴えるマーチャндаイジング（商品企画、生産、販売など）により高付加価値をプラスした「京の新野菜」としてブランド化を図る。現在170軒以上ある契約農家をさらに増やし、気候・土壌の違いを活かして、完熟しても赤くならない緑系トマト「グリーンゼブラ」や赤紫の果皮に白の流線模様が美しい茄子「スティックテイスト」、ピンク色のにんにく、白人参など今まで見たことのないようなオンリーワンの野菜の商品開発を拡大していく。例えば、フレンチやイタリアンのシェフには「おしゃれなパスタや煮込み料理などに合った野菜を使いたい!」というニーズがあるが、市場では入手困難なものも多い。食に対する「こだわり」ニーズに応える商品を提供していくことで、レストラン・ホテルなどのユーザーだけでなく一般消費者の潜在的な需要も掘り起こせるだろう。

現在、市場に流通している京都の伝統野菜も、かつては全国各地から集積され、京都の気候風土に合うように改良されたものだ。「京の新野菜」が、京都の多くの農家の手によって大切に育てられ、新ブランドとしての価値を高めていくことで、私たちの食文化はさらに豊かに広がっていくだろう。

龍谷大学 教授 佐藤 研司

審査委員長の目

国内に出回っていない野菜の種苗を導入し、国内マーケットに供給、新たな市場を形成するというこれまでの取り組みは、他に類をみないユニークなものと言える。同社は、新しい品種を提供するだけでなく、その特性を最大限に生かせる「マーチャндаイジング力」を持っており、商品の付加価値化に強い競争力を持っている。また、限界集落における特産品化事業にも取り組んでおり、多面的な農業経営のモデルとして期待できる。

企業概要

【代表者】高田 実
【所在地】京都府亀岡市馬路町狐瀬20-1
【事業概要】農園芸商品の企画・販売・製造
【電話番号】0771-24-7878
【URL】<http://www.shinofarm.jp/>

東和スポーツ施設株式会社



エコクレイの製造現場。
全国展開を目指す。



運動場整備やガーデニング用など多用途もエコクレイの強みだ。



溶融スラグの有効活用は社会的な課題のひとつ。

資源循環型土「エコクレイ」の

開発・販売

家庭から排出されたごみは焼却炉で燃やされる。その焼却灰をさらに1200℃以上の高温で溶かし、冷却・固化したものを「溶融スラグ」と呼んでいる。環境に優しい安全な素材として注目される一方、全国の年間発生量は約89万トンにのぼり（2009年度見通し）、その処理費用も膨らみつつあり、埋め立て以外の新たな用途拡大が求められている。

同社ではこうした社会的ニーズに応えて、今回、各都市で発生する溶融スラグを活用した「エコクレイ」を開発。天然土を使わず、100%リサイクル材料だけで製造した資源循環型の土だ。水はけが良く砂埃がたちにくい「グラウンド用」はすでに販売・施工実績があり、植物育成に適した「造園・園芸用」、ヒートアイランド抑制効果のある「路盤材」も加えた3種類のターゲットの異なる商品で顧客拡大を図る。法令やJIS規格に基づく試験を繰り返し、安全性と品質の向上に努めており、独自の特許技術の確立によって多機能・低コスト化を実現。環境意識が高まる中、一般家庭などでの需要も広がっていくだろう。

将来的には、全国各地の土砂砕石業者や産廃業者、造園・建設業者などと提携し、技術貸与による製造・販売の現地化で、全国への普及をめざす。各地で発生する溶融スラグをその地域で有効利用する…という循環型社会推進のビジネスプランは、21世紀のソーシャルビジネスの一つのモデルともなる。自治体のコスト削減はもちろん、市民の環境意識の啓発にもつながっていくことが期待される。

龍谷大学 教授 佐藤 研司

審査委員長の目

溶融スラグ等を利用した資源循環型土の開発、製造を手がけ、これまでも行政の認定を受けて小中学校を中心とした販売・施工実績を持っている。リサイクル社会の実現は必須の課題であり、同社の持つ100%リサイクル素材による製造技術は評価される。今後の市場拡大に向けて、新たな市場の開拓だけでなく、製造に携わるネットワーク化が重要な課題となろう。

企業概要

【代表者】川谷 真輝

【所在地】京都市左京区北白川下池田町79-1

【事業概要】土木工事（運動施設、造園、舗装）一式、
体育施設用具の製造・販売

【電話番号】075-702-1177

【URL】<http://www.towa-sports.co.jp/>



血流を良くし、
筋肉温度の低下を防ぐ
ラバー素材を採用。



トライアスロンスクールは、
顧客ニーズをつかむ絶好の場となっている。



トライアスロン競技者の裾野は拡大している。

有限会社 ナチュラルエナジー

着圧機能付き 高機能トライアスロンウェットスーツの開発

健康志向の高まりを受け、国内トライアスロン人口は増加傾向にあり、現在約30万人にのぼるといわれる。タイム短縮を目指すアスリートだけでなく、高齢者や健康目的の愛好家など、トライアスロンを楽しむ層はさまざま。

こうした状況の中、同社はタイム短縮だけでなく、競技中の身体的負担を和らげ怪我の予防につながる高機能ウェットスーツの開発に着目、自社ブランド「TETSUJUN DAMASHII」を開発。浮力・サポート機能や伸縮機能を備えたトライアスロンウェットスーツとして高い評価を得た。今回のプランでは、新たに着圧機能を付加した高機能ブレミアムモデルを提案。これは医療機器メディカルバイオラバー素材を取り入れた世界で初めてのウェットスーツで、末梢（足首やふくらはぎ、腰など）から中枢（心臓）に向かい、漸減的に圧迫を加えることで血流を良くし、筋肉温度の低下を防止するもの。水の抵抗を抑えて浮きやすい、身体を動かしやすいだけでなく、疲労の蓄積を軽減し怪我の予防につながる。現在、市場に流通しているウェットスーツの多くが既製品である中、同社では、14年に及ぶトライアスロンスクール事業で蓄積してきたノウハウやデータを活用して、一人ひとりの体型や能力に合わせたフルオーダー対応により、トップアスリートはもちろん、初心者、高齢者、健康目的の愛好家、さらにはこれまでトライアスロンに関心がなかった潜在顧客の発掘にもつなげていくことを考えている。

今後、大学などと連携して、新商品の効果や効能を科学的な視点から実証していく予定で、トライアスロン競技だけでなく、身体の不自由な方などがリハビリ目的で使用できる予防医学分野でのアイテムの開発・商品化に結びつくことが期待されている。

龍谷大学 教授 佐藤 研司

審査委員長の目

トライアスロン競技というニッチな市場からの発展を目指している同社の技術は、長年の競技実績から実現されたものであり、独自性の高いものと言える。トライアスロン愛好家だけにとどまらず、その優れた商品特性を生かせる新たな市場の開拓を果たしていくためには、これまでに蓄積してきたノウハウにプラスアルファが必要であり、さらなる挑戦が期待される。

企業概要

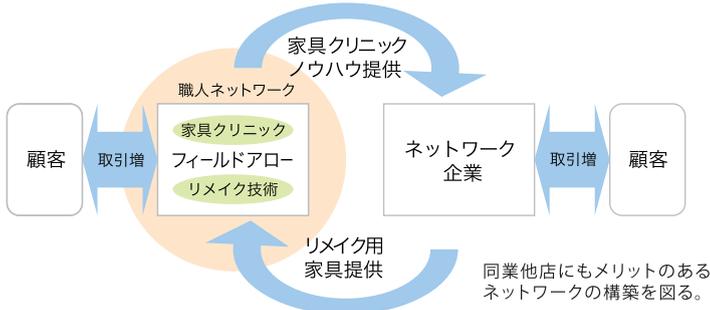
【代表者】 長田 達也
 【所在地】 京都市中京区間之町通二条上ル夷町567
 【事業概要】 トライアスロンスクール運営、
 トライアスロンウェットスーツ・ウェア・
 バイク等関連商品開発・販売
 【電話番号】 075-257-8267
 【URL】 <http://www.n-energy.co.jp>



こだわりの家具が並ぶ店内。
修理やリメイクなどで一品を大事にする顧客を取り込む。

フィールドアロー株式会社

家具クリニックネットワーク



家具ネットワークを支えるのは熟練の職人達。

歴史を重ねた老舗家具店がひしめき合う市場で、新規参入企業ならではの斬新な発想で顧客のすそ野を広げている。通常の家具修理は、椅子張り、木工、鉄工など修理する分野によって対応できる職人が異なるが、これをワンストップで対応する「家具クリニック」を展開。見積もりを依頼された顧客が安心して断ることもできるよう「ワンコイン(500円)出張見積もり」で顧客を開拓している。さらに、USED家具の風合いを変えたり、全く異なる家具に作り変えたりして付加価値を高める「家具のリメイク」も実施。こうした取り組みが可能なのも、同社がこれまで社内外において形成してきた優秀な職人ネットワークの支えによるところが大きい。

今回のコンテストでは、地域家具店との提携による「家具クリニックネットワーク」が認められた。同社が持っている修理技術や見積ノウハウを地域店に提供。ネットワークに参加する企業や店舗が互いに、Win-Winの関係を築くことで、ビジネスモデルの全国的な普及・拡大をめざしていく。同社にとっては、提携店の修理をバックアップすることでの業務拡大のほか、自らが在庫を抱えずとも提携店の家具を活用することで多様なリメイク商品が揃うというメリットがある。一方、提携先にとっては、埋もれた修理ニーズを掘り起こすことで新規顧客を獲得するチャンスとなるとともに、リメイク用の新品・USED家具を販売する機会が増え、売上げの向上が望める。すでに、京都市内や滋賀県内の家具店との提携に取り掛かっている。

家具は思い入れの強い品であり、多くの顧客が「捨てられない」「長く使いたい」という要望を持っている。こうしたニーズに応えることによって、価格競争とは無縁の新たな独自マーケットが生み出されるに違いない。

龍谷大学 教授 佐藤 研司

審査委員長の目

家具の修理・リメイクビジネスという“ありそうでなかった”着眼点に魅力が感じられる。修理という市場を開拓する仕組みとして「ワンコイン見積もり」というサービスを実施したり、USED 家具に付加価値をつけて販売する家具のリメイク事業など、独自の工夫により、これまで埋もれていた市場の開拓に成功している。これをビジネスモデルとして完成させることができれば、全国展開につながっていくものと思われる。

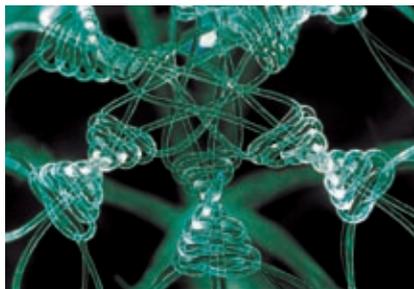
企業概要

【代表者】 矢野 雅也
 【所在地】 京都市中京区二条通高倉西入ル松屋町58-2
 【事業概要】 家具の製造・修理・小売業
 【電話番号】 075-212-8360
 【URL】 <http://www.fingermarks.net/>

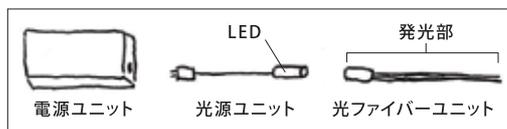
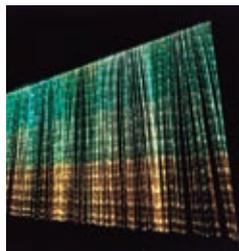
認定



古来から伝わるマクラメの技法が、幻想的な光アートを生む。



株式会社 フィルノット



ユニットのイメージ。複雑な配線をユニットで簡素に。

ユニット化により、低コストでデザインの幅も広がる。

「マクラメ」技法で生み出す ユニット型光ファイバー照明

古代から全世界に伝わる結び方「マクラメ」の技法を使って、糸や皮、布、光ファイバーまで紐状のあらゆるものを結び独自技術を有している。特に、光ファイバーについては、結びごとで直進性の高い光ファイバーの光を側面部分で発光させるとともに、「刺繍」の技法も駆使して光の色合いや強弱を豊かに表現するデザイン性が強みとなっている。テーマパークのナイトパレード衣装や商業施設のオブジェなどにも数多くの採用実績がある。

光ファイバー照明の市場は広がってきているが、施工の際、すべての光ファイバーを1カ所の大型光源機に集約する必要があるため配線が複雑で、価格も高く、メンテナンスにも手間がかかるという問題がある。今回のプランでは、光ファイバーの照明器具を「電源」「光源」「光ファイバー」の3つのユニット(部品)に分割。新たに開発した小型の一灯光源機を分散配置することで、光ファイバーの配線を簡素化できるようにした。各ユニット部分の規格や仕様を統一し、専門的な資格や知識がなくても色や形を組み合わせて自由にオリジナル照明が作れるのが魅力といえるだろう。低コストかつ柔軟性のあるユニットの提供により、これまで光ファイバー照明の導入を躊躇していたディスプレイ事業者や内装事業者、ホテルやショップなどへの販路拡大を狙う。大手照明メーカーなどとのタイアップを含め、今後の市場展開に夢が膨らんでいる。

伝統的な結び・編み技法と最先端技術の融合によって生まれたビジネスプラン。目の前にある資産を活かすことで、新たな付加価値に結びついた好事例といえるだろう。

龍谷大学 教授 佐藤 研司

審査委員長の目

マクラメや刺繍といった技法を用いて編み上げた光ファイバーを側面発光させる技術を開発し、さらに、装置をユニット化することで設置領域を拡大することに成功している。造形としてのユニークさだけでなく、その設置領域が広がることで、これまでにない新たな市場の開拓が可能となるが、デザインだけでない新たな市場に対しての提案力の強化が今後の課題となろう。

企業概要

【代表者】 本田 壽子

【所在地】 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字谷田77-60

【事業概要】 光ファイバーを使用したコスチューム・オブジェの製造販売

【電話番号】 075-962-0774

【URL】 <http://www.philknot.com/>